

SAS/OSAS片側型無呼吸症候群気道確保歯科的装置が

睡眠評価装置で証明できるようになりました

研修会のご案内

日本国には300万人の無呼吸症候群がいると言われております。睡眠中に起こる低酸素症・高二酸化炭素血症・不整脈・高血圧・糖尿病・心筋梗塞・脳卒中・心臓や脳の血管障害・機能障害等、また日中に起こる極度の疲労感・倦怠感・突然襲う睡魔等、根源は無呼吸症候群です。お仕事や勉強にも影響します。当社は2001年歯科技工で文献を発表しております。歯科技工士の発想から生まれた衰えた口腔機能回復のためのトレーニングおよび装置 ―歯科技工士の職掌の”医療化“領域拡大の可能性の一つとして― 3つのアンサー

日本では2000年顎顔面補綴学会から無呼吸が始まり、2001年の16年前は確かに下顎前方上下一体型から始まり（各大学のモデルになっている）、現在では舌舌根部の沈下した重症者のみ上下一体型で、それ以外はほとんど下顎運動の出来る、下顎片側型歯科的気道確保装置が主流である。睡眠評価装置の出現から歯科医院で全て「いびき」で診ることが出来、装置を入れた後もこの装置で良し悪しの評価結果ができ朗報です。

内容

下顎片側型歯科的気道確保装置の紹介・バイトの取り方、模型から見る診断等・・・睡眠評価装置 ウオッチパット ユニファイドの紹介（フィリップス）

MGグループマウスガードの会員様には当社の無呼吸症候群歯科的気道確保装置(OSAS・SAS)の研修を受けられた方のみ新たにMGグループ無呼吸症候群のグループを立ち上げます。

300万人の大きな市場です。

毎月1回の予定で(有)デンタルエイド 敦賀支店で研修を行っております。

現在1回目の研修が終わり5名の方が登録されました。

是非ご検討ください。

お問い合わせ (有)デンタルエイド 敦賀支店 福井県敦賀市曙町9-4

TEL0770-23-7093 携帯 080-3409-0568 お申込み FAX0770-22-1446

！ 初代天皇を初めとする七座いる敦賀へようこそ！